

平成28年度
第113回総会のご案内

日時 平成28年

11月12日(土)10時

受付 9時30分～

会場 ホテルアソシア静岡

会費 5,000円
(25歳以下の会員は2,000円)

催事 元NHKアナウンサー 佐塚元章氏による講演

静岡県出身。早稲田大学教育学部卒業後、NHKに入局され、定年後はラジオキャスターを務められました。バルセロナ五輪の開会式、岩崎恭子の最年少金メダル獲得などの実況担当もされた経験から、幅広いお話しが伺えると思います。

尚、第63回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門で優秀賞を受賞した放送部の作品「89年の時が語る僕らの言づて」も上映いたします。

お知らせ

第42回(昭和20年卒4年制)、高10回卒(昭和33年卒)の皆様は米寿・喜寿のお祝いの年になりますので、ご招待いたします。該当学年の方でご招待状が10月上旬頃お手元に届いていない方は事務局までお知らせください。

*総会に参加するには、総会券が必要です。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

バザー寄付物品について

今年度も「桜凜祭」でPTA主催のバザーに、同窓会役員に寄付物品を募り多数の方からご協力いただきました。有難うございました。

これからも引き続き行いつきたいと考えております。

毎年6月中旬に「桜凜祭」をやっておりるので、もし寄付物品があるようでしたら、6月上旬に母校へ持ってきていただくか、ご連絡ください。

皆様のご協力お待ちしております。

事務局より

住所・氏名変更について

転居や住居表示変更、結婚等で住所や氏名などの変更が生じた場合には早めに同窓会事務局までお知らせください。尚、連絡の際には、卒業年度・卒業回数・在籍時の氏名(旧姓)・変更前の住所氏名などもお忘れなく!

〈連絡先〉 静岡市葵区鷹匠二丁目4-18
静岡大成中学校・高等学校内
静岡精華・大成同窓会
☎054(254)7334

●同窓会事務補助費決算報告

平成27年4月～平成28年3月

<収入の部>

振込総額	863,820
桜凜会より支援金	250,000
同窓会・本会計より	444,047
合計	① 1,557,867

<支出の部>

同窓会だより印刷代	175,500
寄付者名簿印刷代	5,782
返信用はがき代	19,512
クラフト封筒印刷代	70,800
振込用紙印刷代	24,000
消費税	21,624
同窓会だより発送作業基本料	5,000
宛名シール封入作業	83,492
住所変更作業	1,040
消費税	7,162
郵送代	962,629
振込料	1,728
合計	② 1,378,269
<残金>①-②	179,598

事務補助費振込みのお願い

「同窓会だより 38号」お楽しみいただけたでしょうか。この同窓会だよりは、事務補助費で運営されております。

しかしながら、決算報告のとおり支出額が寄付金額を上回っており、不足額については今年度は桜凜会からの支援金と同窓会・本会計から補填しておりますが、全員に郵送することが厳しい状態になってしましました。

これに伴い今年発行分からは、希望者、事務補助費寄付者のみに郵送させていただいております。

これからも母校の様子・同窓会活動をお知らせするため「同窓会だより」の発行を続けていきたいと思いますので、1口1,000円の寄付に引き続きご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、母校ホームページに同窓会コーナーを設けましたので、そちらもご覧ください。



時代に即応する人材
(凛々しきこと 優しきこと)

精華

会長挨拶

高23回卒 仁田 桂子(杉原)



多くの感動を残したリオ五輪、パラリンピックも終わってしまいました。卒業生の皆さんも楽しかったでしょうか？

いやいや、その前に災害列島日本に起きた事に目をやらねばなりません。熊本地震、北海道、東北地方の台風、豪雨被害等「今までにない災害」と言う言葉を随分と耳にしました。先日TVで「地球温暖化は諸災害の犯人。これからは未曾有の災害が益々増えるのでは」という番組を見て、身の毛がよだつ思いました。私には、温暖化を防止する魔法はありませんから、ただ困っているしかありません。

話は変わって、6月にある方の訃報を受けました。その方は享年98歳。激戦地だったインペールから生還した父、杉原正六の戦友です。私は「ビルマの豊饒」という映画でしかその激戦を知り得ないのですが、そこを生きぬいた二人の絆は特別だったようです。その方を私は“中山さんのおじさん”と呼んでいました。中山さんは父の葬儀の時、弔辞を読んで下さいました。父と同じくらいの年齢でしたが、おじさんの方がはるかに元気でした。おじさんは百まで生きると私は勝手に決めていました。

中山さんは同じビルマで実兄を亡くし、「亡き兄の分まで生きて家族を守らなければ」と強い使命感で日本に引き揚げてきたそうです。復員後は農業一筋。お茶がとれると一番に戦友に送っていたそうです。父もその恩恵にあずかっていました。日の出と共に起き、間食はせず三食しっかり食べて、毎晩必ず日記を書いたようです。頑固でしたが家族思いで、愚痴一つこぼさず真面目に誠実に生きられました。おじさんは決して平坦ではなかった人生を「苦も楽も、すべてを糧に精一杯歩み抜いた」でした。

この生きにくい時代、自分を見失いそうになった時、私は“中山さんのおじさん”を想い出してみようと思ったのでした。

(合掌)

静岡精華学園みらい躍進計画

理事長 望月 圭二



静岡精華学園は本年度113年目を迎えました。

学園では更なる発展を期すため、本年度五か年計画の「静岡精華学園みらい躍進計画」を策定しました。計画の目標は社会に支持される学園を目指すことあります。

創立者の杉原正市先生の建学の精神「時代に即応する新しい人材の育成」を改めて肝に銘じ、21世紀は国際化、情報化、少子高齢化の時代と言われておりますので、こうした時代の潮流を見据えながら静岡大成中学校高等学校の魅力を高めていかなければなりません。

生徒一人ひとりの個性が輝き自分の人生を切り開いていくれる教育を目指して教職員一同精進してまいりますので、同窓会の皆様には引き続きご指導ご支援の程よろしくお願い申しあげます。

ご挨拶

静岡大成中学校・高等学校 校長 水口 悅子



同窓会の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対し、温かなご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。『桜凜祭』には、バザー物品をお寄せいただき、有り難うございました。200名近い卒業生が学園祭にお越しくださいました。その折に、本校の生徒たちの明るい挨拶や応対が「素晴らしい」と言うお話を伺うことができました。これも常に生徒・保護者・卒業生・職員が一体となって学園の発展に努めている表れと考えます。これからも、財産としての人づくりを目指し、『凜々しきこと・優しきこと』の校訓のもとに、グローバルな社会で活躍貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。

同窓会の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29(2017)年度

静岡大成中学校・高等学校 入試要項

● 静岡大成中学校

募集定員 70名(男・女)

○1次試験(単願)

出願期間 平成28年12月12日(月)～22日(木)

試験日 平成29年1月7日(土)

試験内容 ・学力試験(国語・算数)

・面接試験(保護者同伴)

合格発表 平成29年1月12日(木)正午

○2次試験(併願)

出願期間 平成29年1月16日(月)～20日(金)

試験日 平成29年1月22日(日)

試験内容 ・学力試験(国語・算数)

・面接試験(保護者同伴)

合格発表 平成29年1月25日(水)正午

● 静岡大成高等学校

募集定員 200名(男・女)

○選抜…単願・併願

出願期間 平成29年1月30日(月)～1月31日(火)

試験日 平成29年2月7日(火)・2月8日(水)

試験内容 ・学力試験

単願……国語・数学・英語

併願……国語・数学・英語・社会・理科

・面接試験

合格発表 平成29年2月16日(木)正午

●問い合わせ先 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠二丁目4-18
静岡大成中学校・高等学校 ☎054(254)7334

学校説明会

○ 中学

○入試説明会

・11月 5日(土) 13:30～(受付13:00～)

・11月19日(土) 13:30～(受付13:00～)

○スターライトクラス体験会

・平成29年2月24日(金) 18:00～

(要予約・小学4、5年生と保護者対象)

○ 高校

○公開授業

・11月 5日(土) 8:40～

○入試説明会

・12月 3日(土) 14:00～

・12月10日(土) 10:00～

総会報告

第112回同窓会総会が平成27年11月14日、ホテルアソシア静岡に於いて106名の参加をもって開催されました。総会では、会長・理事長・校長より挨拶をいただき、41回卒生の米寿(4名)と、高9回卒生の喜寿(14名)をお祝いし、記念品を差し上げた後、「アミューズ華」によるコーラスの披露がありました。また、33回卒業の増井はつ様に精華女学校時代の貴重なお話をいただきました。

その後の催事では、静岡福祉大学 太田晴康学長によるピアノと特別ゲストのベース酒井淳平氏とのジャズ演奏。そして過去にのど自慢に出場経験をもつ長坂和則学部長によるギターの弾き語りが行われました。

「優雅なひと時と、楽しい時間を過ごせて若返りました。また、機会があればお願いしたい」との声を多数いただきました。



ご長寿おめでとうございます

◎白寿・百歳（30回卒生）

遠藤フジ江様 佐藤ゆき様 園田なみ様
三保ふさ様

◎米寿（41回卒生）

赤堀はま様	池ヶ谷幸子様	伊藤多根様
大石すゑ様	大木弥生様	大月江美子様
勝見美智子様	川口朝子様	桑原喜知江様
小長井芳子様	佐塚かず子様	志田八重子様
柴田照子様	白鳥清子様	杉山静江様
寺尾由佳子様	錦織康子様	山村松和子様
望月さち子様	山口良子様	山下みよ子様
吉澤編子様	渡辺幹子様	

計報

元会長 斎藤圭伊子様（高1回卒） H27.7.22
元副会長 田中ちえ様（第40回卒） H27.11.15
元中京支部長 河村芳恵様（第35回卒） H28.1.7

ご逝去されました。永きにわたり、同窓会そして母校のためにお力添えをいただきありがとうございました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

応援歌について

毎年夏に行われる野球応援で、
今年から応援歌が歌われるようになりました。
実はこの応援歌は「八十周年記念歌」をもとに作られています。
今回は、その応援歌についてご紹介します。

応援歌創成までの軌跡
平成28年6月作成（原文 宮本賢三）

1 端緒（2013年 冬）

音楽準備室の楽譜整理時に、「80周年記念歌」の手書きスコアが見つかった。作曲された経緯もわからず、またスコアのみで楽譜の状態も悪かったため、演奏することなくファイルに挟み込み保管することとした。

2 展開（2014年 春～夏）

（1）「本校に応援歌を」との声から「80周年記念歌」の存在を思いだし、楽譜制作ソフト「Finale」でスコアをすべて打ち込み、音源を起こすことができた。

（2）前奏とパーカッションのリズムを直すことで応援歌として採用できるのではと直感的に思い、アレンジ作業に着手する。それと同時に「80周年記念歌」が、いつ、どこで、誰が、何の目的で創られたのか、精華80周年時に何があったのか、歴史的な見地でもこの曲を探ることとした。

（3）多くの先生方に協力を求める中で、当時高校教頭であった石川先生、中学教頭の水口先生より、「本校体育館設立時に、当時の女学生が作詞作曲をした」と、貴重な資料（別紙「八十周年記念歌」参照）と共に話を聞くことができた。この時、もしこの記念歌が応援歌として現代に蘇ることができれば、精華と大成の時代を結びつける大きなものになるのではないかと、勝手ながら希望を抱いた。なお、ピアノ用のアレンジ楽譜（別紙「きらめく青春」参照）は幾見先生からいただいた。

（4）まず、方々に許可をいたたくことから始めようと、同窓会担当で図書室管理の遠藤さんに協力を求めた。作曲された方が、当時高校生であった遠藤さんの同級生であることがわかり、早急に連絡をさせていただいたが、不在であった。その後作詞された方にも何度もお電話をさせていただいたが、不通の状態が続いた。同時進行で、詞の創作を国語講師の石崎先生にお願いさせていただいたが、案がまとまらなかった。

（5）またこれをどこに相談をしたらよいかもわからなかったため、一度預かる形で中断とした。結局夏の応援時に間に合わせることもできず、作業事態を断念することとした。

3 進展（2014年 夏）

（1）夏季休暇中に、同窓会コーラスグループの学園歌録音のお手伝いをさせていただいた。

（2）その際、同窓会会長である仁田桂子様とお話をさせていただく機会があり、80周年記念歌の件をご相談させていただいた。同窓会会長は、この楽曲をご存じではなかったが、同窓会で承諾を得られるようお話をしてくださいとお約束いただき、後日同窓会より楽曲使用の許諾をいただくことができた。

（3）また、数学科の齊藤昇先生のご協力により、当時の校長である鈴木先生にも使用の許可をいただくことができた。更に、この記念歌を吹奏楽版にアレンジ（別紙「静岡精華学園 八十周年記念歌」編曲：北山敦康）をされた、静岡大学の北山敦康先生にも許諾をいただくことができた。

（4）精華と大成。時代を越えて多くの人々の協力があり、応援歌が一気に現実味を帯びた、そんな時期であったように思う。この支えを大切に、私自身もより精力的に作業をしなければと思った。

静岡大成高等学校 応援歌

静岡大成高等学校 応援歌

たかじょうにいき ちしおもーえ
かがやくたいせいのひ びいよ
あふれるさぼういまこのひ あせいしゅん
ちからのかぎり みらいにこづく つばさをひろ
げわかきいのちがきょうもかがやく
若き命が今日も輝く ああ青春力のかぎり
未来に続く翼を広げ 溢れる希望今この日
輝く大成の日々よ 鷹匠に生き
静岡大成高等学校 応援歌

4 反省（2015年 夏）

（1）応援歌を今年こそと意気込んだ時期であったが、楽曲と詞のバランスが悪く、半ば強引に応援部員に一度歌ってもらつたが、インパクトを残すこともできず、早々に断念してしまった。

（2）生徒から「歌いにくい」との意見が多く、詩と楽曲のバランスが悪いと、どんなに良い楽曲でも悪い印象を与えることを学んだ。国語科の中山先生、入江先生にもご意見をいただいたが、それを活かすことが出来なかつた。

（3）また、勝手な判断で動き出してしまったことで、多くの先生方にご迷惑を掛けてしまったことにもなつた。

5 創成（2016年 春）

何とか吹奏楽用に再アレンジした後、今年度応援委員係となった大塚和広先生の協力により、改めて係の先生方に意見を伺うことができ、そこで、他の応援曲と共にこの応援歌を了承していただくことができた。その後、校長先生に詞の全体的な修正をお願いし、全体の流れを石崎先生に確認していただいた。

支部会紹介

◎東京支部会

日 時 平成28年4月10日

会 場 アルカディア市ヶ谷

出席者 母校 水口校長/本部役員 2名/支部会員33名



2016年4月10日、私学会館アルカディアに於いて第55回東京支部同窓会を開催しました。同窓会会长 仁田桂子様、事務局 遠藤ゆきゑ様、大成校長 水口悦子様、恩師押見哲郎様と33名の参加の会となりました。

当日前からも後からも会員の方々から手紙や電話をいただき励まされました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

では、当日の良かった点をお知らせいたします。1つ目、教育の大変さも交ぜ、現学校の大活躍ぶりの話や大成へと変革する時の話など興味深く聴けたことです。2つ目、49回卒の4名が出席して各々当時の素晴らしい青春のひとコマを語ってくださいました。3つ目、今回開校から現在までをDVDで映写しました。知らないことも有り、懐かしさ有りで大好評でした。その後のクイズタイムも真剣になり楽しみました。4つ目、91(高45)・87(高41)回卒の若者の出席が有ったこと。若い方の参加者を待っています。私たちの青春の一時代は精華に有り、クラスメートがいたのです。「精華の卒業生でよかったわ。」と確認できる会でありたいと願っています。案内状が届きましたら、葉書代を無駄にしないよう、出席での返事を待っております。

(東京支部長 小林 治子)

各支部長

○東京支部長 小林 治子 ○焼津支部長 鈴木 美雪

○藤枝支部長 杉山しげ子 ○島田支部長 村田千鶴子

○西部支部長 横光美智子 ○中京支部長 高山 貞子

※各支部連絡先については、事務局までお問い合わせください。

☆新役員について

○会計監査 山梨洋子様の後任として天野英理子様(高29回)

○焼津支部長 深津良枝様の後任として鈴木美雪様(高23回)

○藤枝支部長 池田みよゑ様の後任として杉山しげ子様(高16回)が就任されました。

よろしくお願ひいたします。

学園情報

静岡精華幼稚園

これまで発信してきた幼稚園の思いを顧みる

園長 幾田 光男 (昨年号からの続き)

<題名及びキーワード>

21年「子どもの学びと育ちを促進する」—子どもたちは、置かれた環境に働きながら知識を獲得し、技能を習得します。本園は、時を得、場を得て、学びと育ちを促進する環境を提供します。

22年「五十五歳の志」—開園55年を迎え、本園は三つの重点目標を設定しました。①経験幅の拡大 ②人間関係調整力の素地づくり ③聞く態度・聞き取る力の育成

23年「確かな経営観の出番」—幼児教育界にも激しい変化の波は押し寄せてきました。10年先、20年先を見通す確たる論拠に裏打ちされた確かな経営観が求められます。

24年「幸せいっぱい夏まつり」—8月、今年も本園夏まつりが開かれました。子どもたちの笑顔の中に、家族のぬくもりが満ちあふれ、私たちも幸せ感に包まれます。



静岡福祉大学

静岡福祉大学は、静岡県で唯一の福祉の総合大学です。「福祉」を中心に学ぶ「社会福祉学部」と「幼児教育・保育」を学ぶ「子ども学部」の2学部から構成されています。

社会福祉学部には、「福祉心理学科」、「医療福祉学科」、「健康福祉学科」の3つの学科があり、「福祉」を中心に、「心理」、「児童」、「医療」、「情報」、「介護」、「健康運動」という6つの分野を学ぶことができます。このフィールドの広さが、本学の特徴であり、大きな魅力でもあります。

また、「子ども学部・子ども学科」は、「幼児教育・保育」に加え「心理」と「福祉」を併せて学ぶことで「発達障がい児への対応」や「保護者支援」などのプラスの専門力を身につけた幼稚園教諭・保育士の育成を行っています。



静岡大成中学校 “卒業生優遇制度とは”

下記のいずれかに該当する静岡大成中学校の新入生は、入学金20万円を10万円(半額)とします。

a. 父か母が本校の卒業生である。

b. 弟か姉が本校の卒業生である。

*本校とは「静岡精華、静岡大成中学校」だけでなく「静岡精華、静岡大成高等学校」も含まれます。

『私立中学の魅力について』

ここ数年、本校に限らず私立中学校の説明会への参加者が増加傾向にあります。そこで、本校も含め、私立中学の魅力はどこにあるのかについて考えてみたいと思います。

①学力向上が期待できる。

公立より大幅に多い授業時間数、少人数クラス編成など生徒一人ひとりを支える環境が整っています。

②高校受験のストレスがない。

やはり、私立中学の最大の魅力は中高一貫です。本校は9割の生徒が公立高校を受験しますので(併願は大成高校のみ)、ストレスは半分といったところでしょうか。

③教育環境・設備が充実している。

全室冷暖房完備に始まり、デジタル教材やシャワートイレに至るまで、最新の設備を導入しています。

④同窓生とのつながりが深い

私学の教員には転勤がないため、卒業後も挨拶や相談に来られる方が多くいらっしゃいます。また、三代に渡り大成(精華)に通われた方も少なくありません。

さて、唯一とも言える私立中学のデメリットは、学費ではないでしょうか。やはり、特色ある教育にはお金がかかります。例えば、学習塾へ通うとなると月額平均で3~4万円かかると聞きます。本校は「塾に行かなくても志望校に合格できる中学校」を掲げていますので、学費に見合った、またそれ以上の価値ある中学校となるよう、さらなる努力を続けていきます。

(文責:中学教頭 堀 泰之)